

公共施設の再編に関する意見交換会 概要報告

日 時	平成30年11月16日(金)18時30分～20時00分																								
場 所	雄勝文化会館オービオン 視聴覚ホール																								
対 象 地 区	雄勝地域(院内地区、横堀地区、秋ノ宮地区、小野地区)																								
参 加 者	29 人																								
	内 訳	計			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
	院内地区	7	7	0	0			0			0			1	1		3	3		3	3		0		
	横堀地区	10	8	2	0			0			1	1		0			3	2	1	6	5	1	0		
	秋ノ宮地区	4	4	0	0			0			0			1	1		0			2	2		1	1	
	小野地区	7	5	2	0			0			2	2		0			4	2	2	1	1		0		
	そ の 他	1	1	0	1	1		0			0			0			0			0			0		
	計	29	25	4	1	1	0	0	0	0	3	3	0	2	2	0	10	7	3	12	11	1	1	1	0
市 出 席 者	湯沢市公共施設アドバイザー、 総務部長、企画課長、企画政策班長、担当																								

概 要

開 会																			
あ い さ つ	総務部長																		
説 明																			
	<p><テーマ:集会施設>(企画課)</p> <p>① 集会施設の現状と課題</p> <p>② 市民討議会の意見概要</p> <p>③ 個別施設の方向性(検討案)</p>																		
	 																		

概要

情報提供

集会系施設のあり方を考える（湯沢市公共施設アドバイザー 川嶋幸夫氏）



質疑応答、意見交換



・横堀交流センターは、指定管理を受けて管理しており、今年は、元学校の花壇だった場所で野菜を育て、その野菜を使った料理を地域の皆さんに振る舞い、交流の場とした。今後は、そういった交流を続けながら野菜を販売することも考えている。市の協力を得ながら、私たちに頑張りしていきたいと思っている。

⇒(アドバイザー)ぜひもっと活発に、できれば収益をあげながら活動することで財源となり、その財源でもっと活発な活動ができるようになるという好循環を生み出してもらいたい。今後も行政と一体となって地域を盛り上げていただきたい。それが指定管理者制度の最大のメリットと思う。

・小野地区センターでは、収穫祭など放課後児童クラブの子どもたちと地域が一緒になって活動できている。支援職員の皆さんにもよく手伝っていただいている。また地域の女性の参加が多くなっており嬉しく感じている。ただし、協力してくれる人が固定化しつつあることが気がかりである。各集会施設は、大小はあるが、地域にとってはどの施設も必要だろうと思うし、高齢化により運転ができなくなることを考えると、近くにあって欲しいと思う。一方で、市の財政を考えるとすべて抱えていくことは大変なことなので、市と市民がお互いに譲り合って少しずつ整理していかなければならないと思う。

⇒(市)今後の公共交通のあり方は市の大きなテーマとなっている。財政的な面でも1億円以上の経費を公共交通にかけているが、将来に向かって持続していけるのかという大きな課題もある。地域にとって必要不可欠な社会基盤であることから、やり方を工夫してもっと使い勝手がよく、低コストでできる仕組みがないのか検討している。秋ノ宮地域づくり協議会では、地域の皆さんの自主的な取組について、具体的に話し合う場を設けていただいている。今後も地域の皆さんと一緒に考えていきたい。

⇒(アドバイザー)施設の見直しと足の確保は一体的に考えなくてはならない。市では公共交通を整備しても、利用が少ないと見直しされなくなるので、そういった悪循環にならないよう、市民の皆さんには、公共交通の利用をお願いしたい。

・院内地区の課題は、地区センターが非常に老朽化していることである。子どもたちも遊んでいるので市の考えを伺いたい。

⇒(市)方向性で示したとおり、建物については歴史的建造物として必要な改修をして保全することとしている。部分的な対応では難しく、抜本的に改修が必要だろうと思う。児童クラブなど、利用方法については地域の皆さんと相談させてもらいながら、検討していきたい。

⇒(アドバイザー)明治時代に建てられた建物として保全していく必要があるが、利用している人の安全性を確保するために、然るべきところに機能は移していかなければならないと考える。改修後についても、例えば映画の撮影場所にするなど利用方法も検討していく必要がある。

・小野地区では地域で野菜を作って、バザーなどに出し収入を得ている。ただし、その収入が今後も続くかは不明なので、この状態で指定管理を受けられるのか不安である。

⇒(アドバイザー)指定管理料には、管理人の人件費、事業費を含んでおり、市からオーダーする事業の内容や事業費については、市と指定管理者になる地域との話し合いを経て決まる。施設を利用して自己資金を稼ぐ取組をしていただければもっと地域が活性化すると思う。

・指定管理を受ける際の市の支援内容について明らかにしていただいたうえで、指定管理を受けるかどうか検討したい。

⇒(アドバイザー)今日は公共施設のこれからの在り方についての提案をさせていただいたが、指定管理について決まっていることは施設の管理のみである。地域の皆さんと協議する際には、施設で行う地域の課題解決のための取組内容について、一定の支援の仕組みとともに提案しなければならない。地域の皆さんの活動の拠点として利用してもらうために、自立した経営ができるような仕組みを提案しなければ、一方的に押し付けられたと感じてしまい、受け入れることはできないと思う。最終的なプランを示すときには、地域との協働で課題を解決するための仕組みを提示できていなければ、この話は前に進まない。完璧ではないかもしれないが、その内容が協議の出発点になって、より良いものにしていければいいと思う。地域自治の仕組みを作るには、数年かかるものと思うので、少しずつ歩を進めて、将来的に地区センターを地域の皆さんに運営してもらえるようになってほしいと思う。

・湯沢市はアドバイザーが言う内容で取り組む意向があるのか。

⇒(市)今日示した内容は、アドバイザーからアドバイスをいただき、参考にしながら庁内で検討した結果であるので、その方向で進むというのが市の基本的な方針である。すぐに実現することは難しいと考えており、長い地道な取組となるが、庁内での検討、市民の皆さんとの対話を重ねながら、方向性を変えずに進んでいきたいと思う。

⇒(アドバイザー)アドバイザーを引き受ける際に、単に公共施設の問題ではなく、行政の仕組みを変えていく必要性を伝えている。その第一歩として、地区センターの所管が協働のまちづくりをテーマとしている協働事業推進課に変更されることが示された。協働事業推進課では、中身の話をしっかり提案していかなければならない。

・院内地区の住民は、院内地区センターと旧院内小学校をセットで考えなければならないと思っているので、今後、個別に協議する場を設けてもらいたい。

⇒(市)個別協議の場は必要と考えているので、お声掛けいただきたい。

・院内地区センターを歴史的建造物として残す場合は、今後後世に渡って長く残るようにしてもらいたい。また、歴史資料の展示なども行い、子どもたちが歴史文化に触れられる環境にってもらいたい。

⇒(市)全市的に歴史資料があるが、現在はそれらを整理して展示・紹介する機能は無い。その機能がどうあるべきか、教育委員会では検討委員会を立ち上げている。検討状況や市の方針については、様々な機会を設けて情報提供を行っていく。

⇒(アドバイザー)市では歴史資料が点在している状況にあるので、収集、展示の方法についても考えなければならない。しかし、保存、展示のみだと1回行けばよい施設になってしまいかねない。使い勝手をよくして、体験できるコーナーを設けるなど、リピーターが発生していくようなものにしないと宝の持ち腐れになってしまう。

	概 要
	<p>・若者の意見を取り入れるために、各年代から参加してもらえるような取組をしてもらいたい。</p> <p>⇒(市) 今回の意見交換会は地域によっては若い方にも参加いただいているが、まだ少ないと感じている。市では若い方や女性の方に活躍してもらおうとともに、積極的に行政にかかわってもらうために「若者や女性が輝くまちづくり推進条例」を制定しており、協議会を組織している。今年は、公共施設の在り方をテーマに3回話し合っていた。このような機会を増やししながら、もっと若い方に参加してもらえるような仕組みを検討していく。</p> <p>・雄勝地域と湯沢地域の地区センターには職員数の格差がある。地域づくり協議会で様々な事業をやりたいと思うが施設の管理だけで大変な状態である。指定管理を受ける際は、湯沢地域と同じような職員体制と指定管理料になるのか。</p> <p>⇒(アドバイザー) これから制度設計していく中で、決まっていくこととなる。市は指定管理者にどのような事業を行ってもらうのか、指定管理者は自らどのような事業を行うのかが決まると、その事業を行うための必要な人員、事業費が算出される。ぜひ、市と一緒に地で行う内容を検討していただきたい。</p> <p>・地区センターは市町村合併時にエリアが広がるので、支所をバックアップするための機能として設置したものである。それを管理委託する、もしくは地域づくりの事務局とするのは違うと思う。また、地区センターのほか、公民館、児童館の看板があるので、それぞれ整理して考えなければならないと思う。</p> <p>⇒(アドバイザー) 一つの建物に複数の機能があると、そこで地域の皆さんが色々な活動ができるので、地区センターがそのような施設になってもいいのではないかなと思う。</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>個々の施設については様々な課題があるが、今日市から提案した内容については、概ね御理解いただけたものと捉えてよいか。公共施設を地域へ譲渡したり、指定管理者制度を導入したりする際は、受け入れる地域側として市の支援の仕組みやサポート体制について提案がなければ検討できないという意見もあった。そういった課題を解決しながら、具体的な協議を進めていくこととしたい。</p>
閉 会	20時00分終了